

	実践内容	アンケート内容	4段階評価		平均	昨年	○成果 ●課題 □改善方策	学校運営協議会委員の評価・所見		
学習に関して	1 「わかる授業」実現のための指導方法工夫改善 (イ)	■先生の授業は分かりやすいか。	生徒	3.4	3.2	3.1	○ 一人一研究授業ではICTを活用した授業を実施し、指導力向上と、指導法工夫改善に努めた。 ○ 2年生では論理コミュニケーション遠隔授業を体験し、論理的な思考方法を学ぶことができた。 ● 学年が上がるにつれ、学力の二極化が進んでいる。 □ 主題研究で「学習規律・習慣の定着」「4+4のチェックポイントを踏まえた授業改善」を設定し、生徒の学びに向かう力を育てる授業改善を目指している。	学習に関して ・理解しやすい授業目指し、工夫されているようである。 ・少人数での学習はコミュニケーションが取れて、理解度が上がり良い傾向である。 ・学習に関しては、小学校からの習慣が大切で家庭との協力が重要。 ・キャリア教育については、有識者や成功したOBを招いての講演会を通して、中学時代に何が大切か気付かせることも大切だと思う。 ・ICTを活用した授業が積極的に行われている。生徒の反応から、ICTのプラス面を活かして教育効果を高めたいと思う。 ・様々なキャリア教育を通じて、生徒自身が進路を考える機会を増やして欲しい。 ・先生の授業の分かりやすさの評価が、昨年度と比較して、教師の評価として上昇。先生方の努力が伺える。 ・将来の目標を定めて学習に励むことは大切。家庭で生徒と保護者間、もっと将来の夢(目標)を語り合える環境づくりが必要。 ・将来の夢や目標に対し、中学校時代から計画を立て、それに向かって努力することが大事である。それをサポートする保護者・教職員の態勢をつくる事が大事と考える。 ・3者の評価から保護者が学習に関して、生徒や先生方にもっと期待していると伺える。 ・学校評価のアンケートより、昨年度より家庭学習をしている生徒が減っているように感じる。さらに保護者の協力も低下しているようである。家庭内や社会的な背景も考えられるが、保護者が家庭学習に協力する姿勢を取り戻すようきつづけりも必要ではと思う。 ・実践内容2(目的意識)、実践内容3(キャリア教育)に関しては、生徒たちが多種多様な大人たちの生き方により多く触れることが大切と考える。それこそ、地域の出番なのではなからうか？		
		■先生の授業は分かりやすいと思うか。	保護者	2.9						
		■分かりやすい授業を工夫しているか。	職員	3.2						
	2 目的意識を持った意欲的な学習の取組	■目的を持って、意欲的に日々の学習に取り組んでいるか。	生徒	3.1	3.0	3.2				
		■意欲的に学習するような指導しているか。	保護者	2.9						
		■意欲的に学習するような指導しているか。	職員	3.0						
	3 自立した社会人・職業人の育成を目指すキャリア教育の推進 (イ)	■自分事として将来の生き方を考え、将来の目標達成のために取り組んでいるか。	生徒	3.2	3.0	3.0				
		■自分の将来を考えるような指導しているか。	保護者	2.8						
		■自分の将来を考えるような指導しているか。	職員	3.1						
生活に関して	4 保護者の協力を得ながらの時間を守る態度の育成	■時間を守って学校生活を送っているか。	生徒	3.4	3.4	3.5	○ ほとんどの生徒は概ね時間を守っている。 ● 遅刻する生徒が固定化している。 □ 遅延気味の生徒に関して、生徒指導支援員の協力をおおぐとともに、家庭の協力を得ながら生活習慣の確立を目指していく。 ○ 概ね守られている。 ● 容儀服装の乱れがあり指導することがあった。 ● 心配な状況の生徒に関して、関係機関とのケース会議を実施した。 □ 今後もSNSの使用については、家庭の理解と協力を得ながら啓発を行う。	生活に関して ・保護者の協力が無いと難しいが、学習と遊びの時間を決めて、約束を守るようにすることが大切である。 ・早寝、早起きの習慣づけ、朝食をしっかりとする生活が大切。 ・清掃、係の活動など率先して取り組めるような雰囲気づくりが出来ているように感じる。 ・最近の延中の生徒は本当に真面目だと思う。日常すれ違った時の挨拶もほとんどの生徒ができています。 ・日常の生活で、時間を守るという習慣は、不可欠。評価も高いので安心。 ・将来社会人になっても、清潔できちんとした好感度を持つ身なりは第1条件である。生徒の性格にもよると思うが、保護者、教師の視点で乱れている生徒には、指導が必要と思ふ。 ・生徒と教職員の関係性が良く、校内の雰囲気も温かい。 ・保護者と学校の協力態勢が取れている。 ・生活全般は全く分からないが落ち着いて学校生活を送っていると思ふ。 ・「おおむね学校での生活態度は良好」と3者が共通の評価をしていて、好ましい姿と思ふ。 ・地元でお世話になっている会社として、インターシップ等を通じて、貢献できればと思ふ。 ・延岡中学校は、真面目な生徒が多いと感じる。学校内での環境整備が行き届いている。 ・伝統的に一定のざわつきを内包する学校(校区)と思ふが、今年度に関しては目立ってざわつきを感じない機会が多かったように思ふ。		
		■時間を守るよう指導しているか。	職員	3.5						
		■学校の約束(身なり・きまり)をしっかり守っているか。	生徒	3.5						
	5 保護者の協力を得ながらの基本的な生活習慣や態度の育成	■学校の約束を守るよう指導しているか。	保護者	3.7	3.6	3.6				
		■学校の約束を守るよう指導しているか。	職員	3.5						
		■学校の約束を守るよう指導しているか。	職員	3.5						
	6 生徒の主体的な活動を充実させ、積極的に取り組む態度の育成 (エ)	■清掃・係活動・生徒会活動にきちんと取り組んでいるか。	生徒	3.7	3.6	3.6				
		■清掃・係活動・生徒会活動の指導をきちんと行っているか。	保護者	3.6						
		■清掃・係活動・生徒会活動の指導をきちんと行っているか。	職員	3.4						
心と身体に関して	7 思いやりの心と、人権感覚を身につけた実践力ある生徒の育成 (ウ)	■いじめ・嫌がらせ等、絶対許さない気持ちをもっているか。	生徒	3.7	3.6	3.6	○ 人権講話(全学年対象)で、LGBTQへの理解とSDGsの観点から人権感覚を育成するため学期に一度人権講話を行った。 ● 毎月、学校生活アンケート、教育相談アンケート等に記入されていたいじめや嫌がらせの訴えをもとに、指導・対応する場面があった。 □ アンケートをもとに、いじめ不登校対策委員会、生徒指導部会を実施し、組織的な対応を行っていく。また、個々の教職員のアンテナを高く、事前防止を心がけていく。 ○ 礼法指導やあいさつについて、年度当初にしっかりと確認することができた。 ● 一部だが、自分からきちんとあいさつができな生徒がいる。 □ 生徒会の活動を支援しながら、様々な場面であいさつの意義や重要性を理解させ、主体的に、学校の中でも外でも常に意識できるようにする。 ● 保健安全部が主導し、感染防止対策を徹底した。しかし、家族関係の感染や濃厚接触者による欠席もあった。今後も継続して対策を行っていく。 ● むし歯の治療率は、昨年度78.0%であったが、今年度上回っていない。養護教諭は、歯磨きクラブや部活動単位での啓発活動等、様々なアプローチをしているがなかなか厳しい状況(感染症のため)にある。今後も組織的に対応していく。 □ 今後も感染症拡大防止のために学校として出来ることを継続していく。	心と身体について ・いじめや嫌がらせをさせない学校での指導が出来ているように思われる。 ・校内だけでなく、市中でも元気に挨拶する生徒をよく見かける。ただ、市中で生徒にそれを求めるなら、教職員の率先垂範が伴わないと合理性・説得力に欠ける。容儀の妥当性も然り。 ・人生で最も多感な時期であり、健全な心と体を養う重要な3年間だと思う。どの生徒にも、良い面があり、ほめながら心を開かせることが大切。 ・挨拶が良く出来ており、基本的な礼儀作法が身に付いている。 ・3年以上マスクを着用したことによる心理的な影響が心配(マスクを外すのが恥ずかしい等) ・人口減に伴い学校に対して求められる役割が多いため、教職員のメンタルダウンが心配である。 ・生徒の評価が5項目の中で一番高いということは、自尊心が育っていると受け取れる。 ・横断歩道で車を停めて待っているお辞儀をしてはしゃいでいる生徒さん多い気持ちよく感じる。 ・いじめ、嫌がらせ等、絶対に許さない気持ちが強いのは大変良いことであると思うが、それは必ずしも、いじめや嫌がらせの抑止力にはならないと考える。まずは、生徒一人一人が「自分は大切にされている」と実感を持つような環境をつくるのが大切と思ふ。一人一人の気持ちの充足感が、いじめや嫌がらせを起さない一助になると思ふ。 ・挨拶に関しては、生徒、職員の評価に比べて保護者からの評価が若干低い。これは家の中での挨拶はあまりできていないということを表しているのではないかと推察する。しかし、外に向けての挨拶は良くできている印象がある。		
		■いじめ・嫌がらせ等、絶対許さない気持ちをもっているか。	保護者	3.7						
		■いじめ・嫌がらせ等、絶対許さない気持ちをもっているか。	職員	3.4						
	8 時と場に応じた態度であいさつできる生徒の育成 (エ)	■あいさつがきちんとできているか。	生徒	3.6	3.4	3.5				
		■あいさつがきちんとできているか。	保護者	3.1						
		■あいさつがきちんとできるよう指導しているか。	職員	3.4						
	9 健康の増進と体力の向上に意欲的に取り組む生徒の育成	■むし歯の治療や体調管理に気を付け、欠席等少なくなるよう努力しているか。	生徒	3.6	3.4	3.5				
		■体調管理に気を付け、欠席等が少なくなる指導をしているか。	保護者	3.6						
		■体調管理に気を付け、欠席等が少なくなる指導をしているか。	職員	3.1						
関家庭に	10 保護者と協力しながら、情報機器の使用について考え、正しい実践力の育成 (オ)	■家庭で情報機器(PC,スマホ,TV等)について約束事を決め守っているか。	生徒	3.1	2.8	3.0	○ 情報教育については、日常的な指導や専門家を活用した講演などで啓発を行った。 ● SNS上での生徒間のトラブルで指導することが多かった。 □ 専門家を招いての講話等、外部講師を活用するなどの機会を設ける。	家庭に関して ・この問題が年々難しさを増していることが数字から見える。親子間の直接的な会話が減っているためではないかと思ふ。 ・情報機器の使用に関しては、保護者の意識向上と協力、子どもとの話し合いが不可欠と思ふ。今は親もゲームやSNSに夢中になる世の中なので難しいが、PTA等と協力して根気強く啓発していくことが必要ではないか。		
		■情報機器使用の指導を行っているか。	保護者	2.6						
		■情報機器使用の指導を行っているか。	職員	2.6						
関地域に	11 地域と協力しながら、地域貢献に意欲的に取り組む生徒の育成 (ア)	■地域をよくするために何をすべきか考えることがあるか。	生徒	2.8	2.6	2.7			○ 今年度から、コミュニティ・スクールとして活動を始めた中で、生徒会と学校運営協議会のメンバーで、学校・生徒の良さや今後の取り組むべきことについて、熟議を行うことができた。 ● コロナ禍ということもあり、具体的に地域と連携した活動を行うことができていない。 □ 学校運営協議会と協議を進めながら、生徒会を中心として地域に対して何が出来るのかを自分事として考えられるような仕掛けをしていきたい。	地域に関して ・新型コロナウイルス感染症の終息が不透明で、これからの活動も難しいところであるが、今後の学校運営協議会と生徒会での具体的な活動を決め、推進していくことを期待します。 ・地域貢献は、地区内での行事に保護者と一緒に気軽に参加できるよう、日頃より交流する機会をつくりたい。 ・地域住民として、延中の現状や取組が良く理解できるようになった。地域の声を教育に反映させる取組がされている。
		■地域貢献活動に積極的に取り組ませているか。	保護者	2.3						
		■地域貢献活動に積極的に取り組ませているか。	職員	2.7						